



笑顔とやる気いっぱいの中 生徒自らが常に鍛え続ける七中

七中だより

【ホームページ】 <https://fa.fureai-cloud.jp/nk-dai7-j>



第 12 号 中野区立第七中学校 《学校だより》

令和7年12月12日

一人一人が輝く「七中フィナーレ」

文化的行事委員会
実行委員長

現校舎で迎える最後の合唱コンクール。今年度は七中に関わる全ての人にとって思い入れがある年ですが、今回の合唱コンクールでも、その思いは当日まで様々なところで溢れていました。

学校全体で、そのような特別な雰囲気で行えた大きな理由の一つは、実行委員生徒たちの存在です。初めに実行委員会を開いたのは、夏休みが明けて二日後の9月2日。そこで、私は実行委員生徒たちに3つの言葉を伝えました。“思い合う 伝え合う やり遂げる”、この言葉を実行委員会の合言葉とし、一緒に歩いていきたいと話しました。この合言葉を実現していくために、実行委員生徒たちの思いも聞きました。すると、「七中全員にとって楽しい思い出となる合唱コンクールにしたい。そのために責任をもって仕事に取り組みたい」という言葉が飛び交ったのです。そんな熱い思いの輪を実行委員会で終わらせず、学級全体、学年全体、そして学校全体に広げていくことが実行委員の役目であると確かめました。そして、その言葉通り実行委員の力で全校生徒からも「現校舎最後の年に行う合唱コンクールを大切にしたい」という思いが伝えられ、今年度のスローガンは「響け七中フィナーレ ～次に繋ぐ感動の音色～」に決定しました。

練習期間は毎年七中が歌で溢れるため私自身とても大好きな期間なのですが、今年は響いている歌声がひと際輝いていました。代々先輩たちが様々な思い出を重ねてきたこの校舎に響き渡る歌声は、現在の全校生徒が過去を受け継ぎ、超えようとする熱い思いが一人一人から伝わるものだったのです。思春期を迎える生徒たちが恥じらいを捨て、一つの目標に向かい全校生徒一丸となって「本気」で取り組む姿に、日々胸を打たれました。そんな生徒たちを見守る校舎も、いつもよりどこか明るく見えました。



迎えた本番。積み重ねてきた「本気」を聴いている人たちに伝えようとする生徒たちの姿はステージの上で一人一人輝いていました。中学校生活初めての合唱コンクールとなる1年生は、はつらつとした歌声で新たな風を七中に吹かせました。先輩からのバトンを受け取る2年生は、心をつにした歌声で

自分たちが次の歴史を刻もうという覚悟を見せました。最高学年である3年生は、「一生懸命」に重ねてきた日々を歌声にのせ、後輩たちに思いを繋げようとする姿はホールにいる全員の心を動かしました。毎年合唱だけでなく、トーンチャイムの演奏にも挑戦しているD組は、自分たち自身で何度も練習を重ね、絆を強めた発表をしました。今年度のアトラクションの部では生徒たちが主体となり、学級・学年発表とはまた異なる魅力で合唱コンクールを盛り上げてくれました。様々な形で音を楽しむ姿はまさに「音楽」そのもの。全校生徒で創り上げた音楽は最高の「フィナーレ」を迎え、その音色はまた来年から始まる新たなスタートに繋がったことでしょう。



歌うことが苦手な人、音楽にあまり触れない人も当たり前存在する中で、互いに「自分にできることは何か」ということを考え、“思い合い”ながら気持ちを“伝え”、最後まで“やり遂げた”この時間。一人一人がそれぞれの形で主役だったからこそ、素晴らしいフィナーレを迎えられたのだと強く思います。素晴らしい時間を共にできたことを心から感謝します。七中生、ありがとう。そして共に繋げていこう、これからの七中のために。これからの私たちのために。



敢闘賞	D組
金賞	1年B組
	2年B組
	3年C組
指揮者賞	
	1年
	2年
	3年

(敬称略)



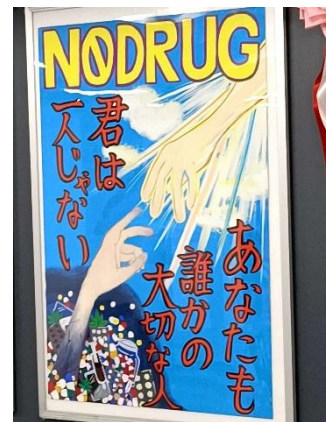
生徒の活躍

第37回 薬物乱用防止 中野区民大会
ポスターの部 帝京平成大学 学長賞 3年

「社会を明るくする運動」作文コンテスト
中野区推進委員長賞 1年

税の標語
中野間税会 会長賞 3年
「税を知り 明日をつなぐ これからも」

佳作 3年
「税金は みんなの心 支える輪」



薬物乱用防止ポスター

創造ものづくりフェア in TOKYO 創造アイディアロボットコンテスト
制御部門 優勝 E O (2年 、 、 1年)
第2位 A K S (2年 、 、)
第3位 T Y (2年 、 、) (敬称略)